

平成 25 年 5 月 30 日

社会資本整備審議会・交通政策審議会
「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について（中間答申）」

我が国の社会資本ストックは、高度経済成長期などに集中的に整備され、今後急速に老朽化することが懸念されております。

このため、平成 24 年 7 月に国土交通大臣から社会資本整備審議会及び交通政策審議会に対して「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について」の諮問がなされ、同年同月に社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会に「社会資本メンテナンス戦略小委員会」が設置され、これまでに 6 回にわたる調査審議が行われました。

この度、今後の維持管理・更新のあり方について一定の結論に達したことから、技術部会での審議を経て「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について（中間答申）」がとりまとめられ、本日、福岡会長（社会資本整備審議会会長）、家田部会長（交通政策審議会技術分科会長、社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会長、社会資本メンテナンス戦略小委員会委員長）から、太田大臣、鶴保副大臣、松下大臣政務官に対して中間答申が手交されました。

今般、中間答申がとりまとめられたことに伴い、国土交通省としては、現在政府内で検討されている新たな成長戦略も踏まえ、メンテナンス政策のより一層の充実を図ってまいります。

